

令和6年宇治田原町全員協議会

令和6年9月27日

午前11時53分開議

議 事 日 程

日程第1 行政諸報告

○建設工事等請負契約の状況（1,000万円～）について

○宇治田原町まちづくり総合計画審議会（第4・5回）開催結果概要について

日程第2 令和6年第4回（12月）定例会について

日程第3 その他

1. 出席議員

議 長	12番	浅 田 晃 弘	議員
副議長	1 番	山 内 実貴子	議員
	2 番	榎 木 憲 法	議員
	3 番	馬 場 哉	議員
	4 番	森 山 高 広	議員
	5 番	山 本 精	議員
	6 番	宇佐美 ま り	議員
	7 番	藤 本 英 樹	議員
	8 番	今 西 利 行	議員
	9 番	上 野 雅 央	議員
	10番	原 田 周 一	議員

1. 欠 席 議 員 なし

1. 宇治田原町議会全員協議会規程第5条の規定により会議事件の説明のため出席を求め
るものは次のとおりである。

町	長	西 谷 信 夫 君
副 町	長	山 下 康 之 君
教 育	長	奥 村 博 巳 君

総務政策監	奥谷明君
総務理事兼総務課長	村山和弘君
健康福祉理事	立原信子君
建設事業理事	垣内清文君
都市整備担当理事	野原正行君
教育次長兼 学校教育課長	矢野里志君
企画財政課長	中地智之君
企画財政課課長補佐	岡本博和君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局 長	西尾岳士君
庶務係 長	重富康宏君

開 会 午前11時53分

○議長（浅田晃弘） 本日は、大変ご苦労さまでございました。

今期定例会は、9月3日に開会以来、本日までの25日間にわたり、令和6年度一般会計補正予算をはじめ条例関係など提案されました議案について、付託されました各委員会において議員各位の真剣なご審議、ご審査により議了することができました。

また、決算特別委員会に付託されました令和5年度各会計決算認定を原田委員長、上野副委員長のもと、慎重にご審査をいただき原案どおり認定をいただきました。

本日をもって無事に閉会できましたことは、これひとえに議員各位のご協力によるものであり、厚く御礼を申し上げます。また、町長はじめ行政側におかれましても大変ご苦労さまでございました。

それでは、ただいまから全員協議会を開催いたします。

会議は、お手元に配付しております会議日程により進めさせていただきます。

これより議事に入ります。

日程第1、「行政諸報告」。

最初に、建設工事等請負契約の状況（1,000万円～）について、説明を求めます。中地企画財政課長。

○企画財政課長（中地智之） それでは、1,000万円以上の建設工事等請負契約の状況につきましてご報告を申し上げます。

A4、横の資料をご覧ください。

報告案件は3件でございます。

まず1件目は、建設環境課所管の2の2号線道路改良工事（その2）でございます。令和6年7月22日に電子入札による一般競争入札を実施いたしました。9者の入札がございまして、請負金額は3,360万5,000円、にしででんきが請負者となったところでございます。落札率は85.89%、工期につきましては令和6年7月30日から令和6年12月26日まで、工事の内容につきましては道路土工一式、のり面工一式、舗装工一式等記載のとおりでございます。

2件目は上下水道課所管の湯屋谷石詰橋水管橋配水管布設替工事でございます。

令和6年6月14日に電子入札による一般競争入札を実施いたしました。11者の入札がございまして、請負代金につきましては2,175万8,000円、株式会社本田建設が請負者となったところでございます。落札率は85.78%、工期につきましては、令和6年6月22日から令和6年11月15日まで、工事内容につきましては、配水管布設替工事でございます。

す。

3つ目です。同じく上下水道課所管の禅—1—13地区面整備工事及び禅—1—13地区水道管移設受託工事でございます。令和6年9月9日に電子入札による一般競争入札を実施いたしました。11者の入札がございまして請負金額は3,976万600円、城陽市の株式会社原田組が請負者となったところでございます。落札率は85.53%でございます。工期につきましては、令和6年9月18日から令和7年2月28日まで、工事内容につきましては、下水道管渠並びに水道配水管の開削工事でございます。以上、説明とさせていただきます。

○議長（浅田晃弘） ただいまの説明につきまして、何かございませんか。ございませんか。

（発言する者なし）

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、次に、「宇治田原町まちづくり総合計画審議会（第4回・5回）開催結果概要について」説明を求めます。岡本企画財政課課長補佐。

○企画財政課課長補佐（岡本博和） それでは、宇治田原町まちづくり総合計画審議会（第4回・第5回）開催結果概要についてご報告させていただきます。

まず1番、審議会の委員でございますが、谷口知弘福知山公立大学教授を会長に18名の方に委員として、参画をいただいております。

2番目、第4回審議結果の概要ですが、日時場所、令和6年7月12日午前9時半から12時15分、場所はここ役場3階、委員会室で開催させていただきました。審議事項といたしましては、基本計画（素案）資料1に基づきまして4つの政策の柱でございます、やすらぎのまちづくり、つながりのまちづくり、にぎわいのまちづくり、ハートのまちづくり、これらにつきまして、この第4回の審議会のほうにつきましては、ワークショップ形式で実施をさせていただきました。

いただいた主な意見ですが、地域の防災計画に外国籍の方も参加しやすい取り組みが必要では、住環境について、外国籍の方が増えているので単身世帯アパート建築を認めていくような制度に改めては、地域の特色ある商品の海外販路拡大の支援も必要、お茶以外に来てもらえるコンテンツが少ないのではないか、クラフトビールやクラフトコーラなど新しい魅力づくりも必要ではないか、茶ッピー未来基金のような新しい活動の中で、若い世代が次代の子供たちを育む方向性があってもよいのではないかなどの意見が出たところでございます。

3 番目、第 5 回の審議結果の概要でございます。日時場所、令和 6 年 9 月 9 日、午前 10時から12時30分、役場 1 階会議室101、102で開催をさせていただきました。

審議事項といたしましては、添付資料 2 のまちづくり戦略（案）につきまして、人口減少対策でありますまちづくり戦略についてご審議をいただきました。戦略の 3 つの柱は、うじたわらっ子育て応援戦略、まちの活力アップ戦略、ずっと住み続けたいまちづくり戦略でございます。

主な意見といたしまして、親以外の子育てをしている人とのふれあいの中で、子どもたちが子育てに明るい印象を持てるような取り組みがあってもよいのではないか、note などのツールを活用して、移住者の方が情報発信をする機会をつくっていいかとよいのではないか、多文化共生、観光の面からもインバウンドを意識した取り組みがあってもよいのではないか、防災士と連携して子どもの防災教育に力を入れてもいいのではないか、子どもたちの幸せについて考える場があってもよいと思うなどの意見があったところでございます。

これら意見を踏まえまして計画を調整し、次回10月31日を開催予定としております第 6 回の審議会で審議いただき、計画を策定してまいりたいと考えております。報告については以上でございます。

○議長（浅田晃弘） ただいまの説明につきまして、何かございませんか。今西議員。

○議員（今西利行） この総合計画（素案）についてなんですけれども、私これもらったのが昨日なんです。一応、一通り目を通しましたけれども、なかなか詳しいところまで読み込めていないというのがありまして、これについては今後こういう場というか、私もそれはもちろん、いろいろ質問したいことも中にはあるんですが、そのあたりの質疑というようなことについてはどのように今後されていくのか、まずお聞きします。

○議長（浅田晃弘） 岡本補佐。

○企画財政課課長補佐（岡本博和） 予定としましては、次回12月全協ないしは年が明けまして 3 月議会には計画戦略のほうは議決案件として提出をさせていただきますので、これまで議会の都度全員協議会のほうで資料としてお示しをさせていただいておりましたので、その中でお目通しいただきご意見をいただける場があるかなというふうには考えております。以上です。

○議長（浅田晃弘） 今西議員。

○議員（今西利行） ぜひ、例えばこの素案を配布する場合でも、もうちょっと早くできていたと思うんですよ。そうしたら、私の手元に入ってもう少し詳しい検討もできたの

で、そのところ今後資料配付については、事前にできるだけ早く手元に渡るようにお願いしたいというのがあります。今後それ……。

○議長（浅田晃弘） 奥谷政策監。

○総務政策監（奥谷 明） 意見はいつでもお聞きさせていただきたいと思いますが、そもそもこの審議会も公でオープンにさせていただいている会議でございます。それでもしご興味いただきましたら、そういうところにもお運びいただいて、その審議状況等お聞きいただくなり、またその時点での資料はそこで配布もさせていただいておりますので、そういうことも踏まえてまたいろんな場でご意見いただくことは可能かと思います。そういうところをご理解いただければと思います。以上です。

○議長（浅田晃弘） 今西議員。

○議員（今西利行） ただこういう場をせっかく持っているわけだから、もちろん意見はあるんですけども、事前に早く配付をしていただいて質疑をちゃんと時間を取っていただくと、こういう場を持っていただけたらというふうに思います、全体の場合ね。以上です。

○議長（浅田晃弘） 馬場議員。

○議員（馬場 哉） 中身のことも含めて少しお聞きしたいことがあるので、質問させていただきます。

今、実は今西議員のほうからもありましたけれども、まちづくり審議会は私議員になる前に審議会入っていたんですけども、当時から審議会と議会の関係は審議会一般の方々が選ばれた方が審議してんねんから、僕当時からも議員がややこう言うなということ言うたことあるんですよ。だから結局は、委員さんがいろいろ審議してくれはる中で、それを議会の報告を受けて承認していくということなんで、今政策監もおっしゃったように、公開の場やってはるので、もし意見があればその場でパブリックコメント等もあるので、その場でしはったらいと思うんで、僕基本的にはこうやってまとめてくれはったものを最後議会側が認めるものやと思いますので、それは前段としてお話しさせてもらう上で、中身についてちょっと見解をお聞きしたいので、順番にお聞きしたいと思います。

まず16ページなんですけど、このまちづくり目標のキーワードですが、前回の計画では、すこやかに安心して暮らせるまち、それから便利で快適に過ごせるまちづくりから今回やすらぎのまち、つながりのまち、にぎわいのまちというふうに変えていかはったわけですけども、特にこの1番のところなんですけど、この文脈を読む限りでいくとここは

安心安全のところと書いてあると思うので、この施策目標についても番号は振ってあるんですけども安心安全が前に出ています。前回の計画では、福祉健康のほうが前に出てきている文脈になっておりまして、それでどちらも安心安全も福祉も両方大事なのは分かるんですけども、今回こうやって順番を変えはったいきさつだけ少し教えていただけたらと思います。

○議長（浅田晃弘） 岡本補佐。

○企画財政課課長補佐（岡本博和） 今回、6次総合計画の策定に当たりまして、町内策定会議等々議論、その意見を踏まえまして、能登半島地震など昨今の災害の被害の状況も踏まえまして、施策目標の順番では安全防災を1番目2番目に持ってきたものでございます。

安全防災または保健医療福祉、どれも大事な施策目標であると認識しております。それぞれの施策を展開して安心して暮らせる、やすらぎのまちづくりを目指してまいりたいというふうに考えております。

○議長（浅田晃弘） 馬場議員。

○議員（馬場 哉） 行政のやらんなんこととは安心安全というのは、ほかの全てよりもやって当然の部分だと思うんです。がしかしながら、福祉であるとか、健康については計画の中身の中でも触れますけれども、住民の方々とパートナーシップまた協働を通じてまちづくりを構築していくものなので、その点については、健康福祉についても、もちろん今いきさつについてはお聞きしましたけれども、施策目標の中で入れ込んでいただくようにしていったらどうかというふうに思います。

それとその横の17ページなんですけれども、ちょっと少し気になっているんですが、この真ん中のところの目標人口実現のための方向性の中で「ひとづくり」「みちづくり」の方向性を踏まえたまちづくり戦略による出生数の改善というふうに云々書いてありまして、この文脈見た瞬間に「ひとづくり」という部分は、「まちづくり」は「ひとづくり」というふうに昔から言われておりますので、そういう人材育成の部分かなというふうに思ったんですけども、その後に出生数というふうに出てきているので、もちろん人口増やすことは大事なんですけれども人口を増やすということが前面に出ている文面ではないかなと思うので、そこはいきさつ的にどうでしょうか。

○議長（浅田晃弘） 岡本補佐。

○企画財政課課長補佐（岡本博和） ここで記載しております「ひとづくり」、これは次代を担う子どもたちの学びの充実や子育て支援をはじめとしましたこれからを担う方々

への施策、その方向性、これを示しております。

また、ここで「まちづくり」というふうなことも書いておりますけれども、新名神開通を見据えました宇治田原の未来のための不可欠な「まちづくり」、この誘導軸を実現していくための施策、その方向性を示しておるといふふうなものでありまして、これらの方向性を踏まえました施策の相互の効果によりまして、出生数の改善また移住・定住の促進によりまして、目標人口を実現していこうとそういうふうなものでございます。

○議長（浅田晃弘） 馬場議員。

○議員（馬場 哉） そういう意味合いの「ひとづくり」であるというのは、ちょっと説明を加えないと僕みたいに誤解しはる人がいるん違うかなと思うので意見だけ申し上げておきます。

それと18ページなんですけれども、SDGsの推進でこれを取り組みながら、後にも出てきますけれども、このアイコンをまちづくり戦略にはめていかはるという意味合いでここにSDGsも出ていると思うんですけれども、この総合計画の中でグローバルな目標であるSDGs、どういうふうに関連していくのかなという部分でいうとどういう説明をしていかはるおつもりでしょうか。

○議長（浅田晃弘） 岡本補佐。

○企画財政課課長補佐（岡本博和） 最近のほかの市町でも定められておりますこの総合計画のほうには、この持続可能な開発目標でありますSDGs、これを地方公共団体の基礎自治体であります市町村の計画のほうにも掲載するというのが多い傾向にございます。今回、6次総計の策定に当たりましてSDGsのアイコンを掲載するようにしていこうというふうにしたものでございます。

あわせまして、やはりこのSDGsというものが国際の中で定められたもので、国のほうの照会でも計画のほうにSDGsをうたっておりますかというふうな照会も来ております。そういった意味から、総合計画のほうにもSDGsのアイコンを掲載していくというのが最近の傾向かなというふうに考えております。以上です。

○議長（浅田晃弘） 馬場議員。

○議員（馬場 哉） 最近の傾向というかトレンドだということで、そこは理解はしておきます。

それと最後もう1点だけ、まちづくり戦略の中の17ページのところで、最後の辺りなんですけれども、この防災アプリのインフォカナルについて、KPIで数値出してはるんですけれども、これについて私、本年度の予算委員会でもインフォカナルがすごい認

知度が少ないのともっと目標数値をきっちり持って増やしていくべきだと、増やしていく段階でインフォカナルの使い道を防災情報の発信だけでなく、まちづくりなんかにも使っていけば、インフォカナルについてはこれ数値目標なんで、10年の中の半分で令和11年800というふうにしてはると思うんですけれども、もうちょっと頑張っただええのではないかなと数的にですよ、そういうふうに思います。

モニタリングについては、ぜひここは毎年、5年に1回の間の令和11年の間のところでモニタリングしはるんですけれども、防災アプリについては、もう少し目標値も含めて頑張っただ活動して目標値上げるようにしはったらどうなんですかというのをお聞きしたいんですけれども、いかがですか。

○議長（浅田晃弘） 中地課長。

○企画財政課長（中地智之） まず、モニタリングといいますか、恐らくは進捗管理のことをおっしゃっているのかなと思いますけれども、それは当然、策定年度以降は推進会議の中でモニタリングというのは進めていく予定をしております。

それともう1点、防災アプリ、インフォカナルの登録者数ですけれども、やはり現状値が380というところを踏まえますと800というところの数字、少なくともここまでは上げたいというところで設定をしております。それこそローリングの中で見直しを、また中間見直しの際とかには考えてもいいのかなとは思いますが、まずは現実的なところから進めさせていただけたらとは思っております。以上でございます。

○議長（浅田晃弘） 馬場議員。

○議員（馬場 哉） 今現実と正直に言いはったので、そこはそれで私もそれで納得をしておきます。

それからこの計画の中で、母子モと今申し上げたインフォカナルと様々なスマホのアプリなんか活用すると書いてある計画なんですけれども、町が広報紙を含めてマチイロというスマホアプリに運用して乗っかって、広報紙もそこで発信してはるし、いろんな入札情報なんかもそこで発信してはるマチイロというアプリがあるんです。マチイロのことが全然この計画とか戦略の中に触れられていないので、そこはちょっと入れていかはったらどうかなというふうに意見申し上げておきます。以上です。

○議長（浅田晃弘） ほかにございませんか。今西議員。

○議員（今西利行） 私からも1つだけ、将来人口についてお伺いします。

前回の総括と前回の計画を比べたら、かなり人口の計画が下方修正されていると思うんですが、例えば令和22年度、今回は7,287人になっていますね。前回の場合は8,000人

となっていますけれども、かなりこれ減少目標値が下げられておりますが、そのあたりは前回のこれまでの取り組みで一生懸命さらなる努力で頑張っって移住・定住やっていくというふうに書かれているんですけども、結果的にはかなり予想の人口が減っておりますが、そのあたりはどういうふうに分析されたのか、お聞きします。

○議長（浅田晃弘） 中地課長。

○企画財政課長（中地智之） 第5次の計画の中で、定めた目標人口と現実の人口の乖離があるというところで、まずもってこの第6次の総合計画を定めるに当たって、審議会また策定会議で議論する中で、やはり社人研が推計した数字というのは相当正確といえますか、見通しがほぼほぼそのとおりになっているという現実がございます。

やはり総合計画の人口ビジョンというのは、これ上位下位という位置づけにはしておりませんけれども、様々な計画に影響を与える計画にもなりますので、そこは社人研という公的機関が出している人口推計をしっかりと踏まえた上で、そこから上積みをする、そういう形で目標人口を定めた、そんないきさつがございます。以上でございます。

○議長（浅田晃弘） 今西議員。

○議員（今西利行） だから先ほど言いましたけれども、前回例えば令和22年度については、6,581人が約4,000人のプラスを見込んでいるんですけども、今回は約400人しかそういう人口増というふうにはなっていませんね。これはどういうふうに考えられたんですか。

○議長（浅田晃弘） 中地課長。

○企画財政課長（中地智之） 5次の計画策定時ですけれども、まず国のほうから目標出生率というのが示されておりました。それに基づいて計画を立てるのが前提にありましたので、まず出生率のゴールを定めて人口を増やしていくというそういうスケッチになっておりましたけれども、今回あえて出生率という概念が国のほうからの要請としてはなくなっております。

ですけれども、人口の推移としては、日本の社会全体が人口減少社会というのを受け入れる前提で今考えないといけない局面にありますので、その中でベースにしたのは、やはり社人研の数値ということになりますけれども、そこからそのまま社人研どおりでは計画を立てる意味がないというところで、いろんな施策を実行することで少なくとも社人研の人口を上回ってやっていこうと、そういうところで人口ビジョンというのは策定した経緯になっております。

○議長（浅田晃弘） 今西議員。

○議員（今西利行） 分かったというか、頑張ってやっていくということなんで、そのあたり全体的に日本社会が人口減少になってきているのは事実ですわね。その辺りの分析とかあるいはさらなる頑張り、どういう点で頑張っていったらいいのかということをもっと少し詳しく分析なり提案してほしいというふうに思います。以上にしておきます。

○議長（浅田晃弘） ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、以上で日程第1、行政諸報告を終わります。

日程第2、「令和6年第4回（12月）定例会の日程（予定）について」。

昨日、26日に議会運営委員会が開催され、お手元に配付のと通りの日程（予定）となりましたので、よろしくお願いいたします。

次に、日程第3、「その他」。

何かございませんか。

（発言する者なし）

○議長（浅田晃弘） 当局側より何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） 事務局より何かございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（浅田晃弘） なければ、私から昨日の議会運営委員会において、行政当局より人事案件、教育長、教育委員会委員の任命について、臨時議会開会の申出等がありました。

11月10日に、町議会議員の選挙があり、初議会が任期の始まる11月15日金曜日に予定をされております。

この件について、何かございませんか。

（発言する者なし）

○議長（浅田晃弘） ないようでございますので、これで全員協議会を終わります。

本日は、大変ご苦労さまでございました。

閉 会 午後0時21分

宇治田原町議会全員協議会規程第 8 条の規定によりここに署名する。

宇治田原町全員協議会議長 浅 田 晃 弘